

デジタルドキュメント (9)

高久雅生

2015年6月11日(木)3・4時限

1

本日のお品書き

本日最終回

- (前回の振り返り)
- 多人数参加・情報共有
- ウィキの事例
 - ✓ WikiWikiWeb
 - ✓ Wikipedia
 - ✓ saveMLAK
- ウィキ: Web上での情報共有・情報協同編集のための古典的なツール
 - ✓ ワークフロー(承認、決済、役割の明示)が無いため、(暗黙の)ルールが必要
 - ✓ 編集のための指針 / ルール
 - ✓ コミュニティベースのコミュニケーションの枠組み

2

(前回の振り返り)

- オフィス文書とデジタルドキュメント
 - ✓ ワークフロー
 - ✓ 処理モデル
 - ✓ 文書フォーマット: OOXMLとODF
 - 標準化(独占規格から国際標準へ)
 - パッケージ形式による複合オブジェクトの埋め込み
- デジタル化テキスト
 - ✓ 大規模デジタル化
 - ✓ テキストと文字, デジタル翻刻
 - ✓ ドキュメントフォーマットTEI

3

多人数参加と文書共有に基づく デジタルドキュメント

4

多人数参加と文書共有

- UGC (User generated contents)
 - ✓ CGM (Consumer generated media)
- Webにおける具体例: Wikipedia
 - ✓ Wiki(多人数参加による編集)
 - ✓ ハイパーリンクと構造、参加者の識別、履歴...



<http://www.time.com/time/covers/0,16641,20061225,00.html>

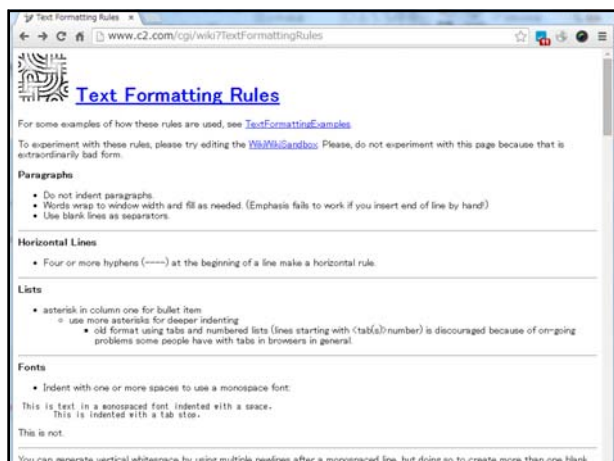
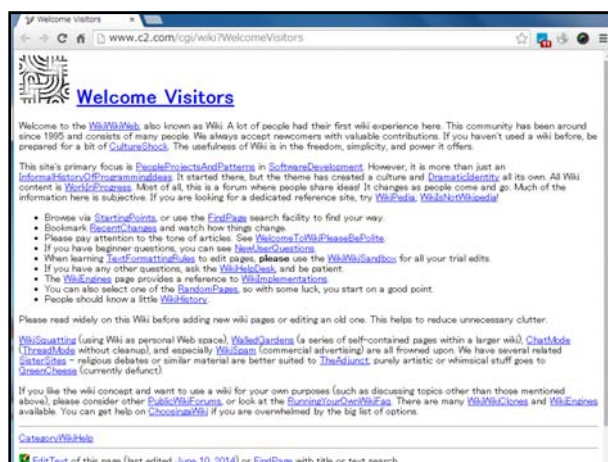


https://commons.wikimedia.org/wiki/File:HNL_Wiki_Wiki_Bus.jpg

Wiki(ウィキ)の歴史

- WikiWikiWeb
 - ✓ Ward Cunninghamにより、1995年にサイト構築
 - ✓ 目的: プログラム開発者のためのパターンの収集・開発
 - ✓ <http://www.c2.com/cgi/wiki?WelcomeVisitors>
- シンプルなPerl言語によるCGIスクリプト
 - ✓ Web上で協同編集(誰でも編集できるWebサイト)
- ウィキ記法
 - ✓ ページとリンク付け、整形のための軽量マークアップ言語

7



ウィキペディア (Wikipedia)

- 百科事典プロジェクト
 - ✓ 世界最大規模: 400万項目以上
 - 日本語版だけでも90万項目以上
 - ✓ 多言語: 200言語以上
 - ✓ 参加者数:
- 運営: NPO法人ウィキメディア財団
- ウィキシステムMediaWikiを採用
- 誰でも編集できる
 - ✓ いつでも迅速に記事が作成できる、修正できる
 - ✓ 誤りや不正確な記述もそのまま公開されてしまう

10

ウィキペディア (Wikipedia) とは?

- 百科事典
 - ✓ 万物の事象について一定の知識が編まれたもの
- オンライン事典
 - ✓ オンラインにあることで、いつでもどこからでも閲覧できる
- ユーザ参加
 - ✓ 誰でも編集、投稿できる
- 自由なコンテンツ(オープンデータ)
 - ✓ 百科事典のコンテンツ内容は、だれでも自由に利用できる(GFDL & CC-BY-SA)
 - <http://dumps.wikimedia.org>

11

ウィキペディアの利用

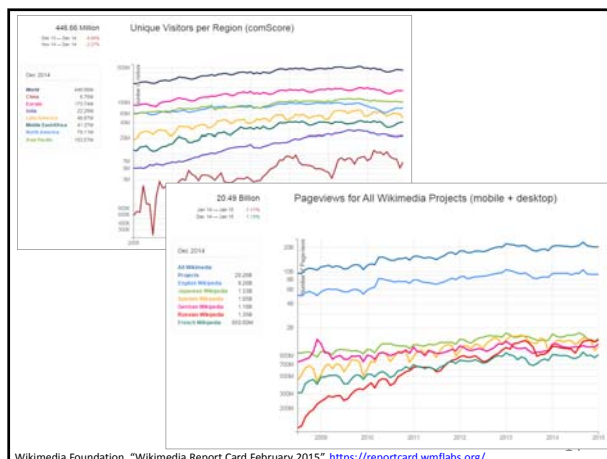
- ウェブ全体でも上位10位以内で頻繁に利用されるサイトのひとつ
 - ✓ マーケティング調査のニールセン社によれば、2014年の日本におけるPC閲覧サイトで第8位
 - ✓ Web視聴率調査のcomScore社によれば、2014年12月の全世界での利用者は月に4億46百万ユーザにのぼり、2014年12月における日本語版ウィキペディアの累計アクセス数は13億3千万件

12

ランク	サービス名	平均月間利用者数(人)	対昨年増加率
	パソコン インターネット利用全体	52,068,000	-8%
1	Yahoo	40,986,000	-12%
2	Google	27,720,000	-17%
3	FC2	22,445,000	-19%
4	YouTube	22,215,000	-18%
5	Microsoft	21,763,000	-10%
6	Rakuten	21,517,000	-15%
7	Amazon	20,164,000	-14%
8	Wikipedia	18,225,000	-20%
9	MSN/WindowsLive/Bing	16,775,000	-17%
10	Ameba	16,534,000	-25%

Nielsen. "TOPS OF 2014: DIGITAL IN JAPAN ~ニールセン2014年 日本のインターネットサービス利用者数ランキングを発表~". http://www.netratings.co.jp/news_release/2014/12/Newsrelease20141216.html

13



ウィキペディアのコミュニティ (1)

- 百科事典である
- 中立的な観点による編集
- 自由に無料で利用でき、誰でも編集できる
- 行動規範
- 大胆に

<https://ja.wikipedia.org/wiki/Wikipedia:%E4%BA%94%E6%9C%AC%E3%81%A6%E6%9F%B1>

ウィキペディアのコミュニティ (2)

- ノートページ: 記事本文と議論とを区別
- 井戸端: コミュニティ全体の掲示板、議論

ウィキペディアの正確性

- 不特定多数の編集者による変更が常時行われているウィキペディアに関しては疑義が寄せられることも多い
 - ✓ブリタニカ百科事典との比較
 - ✓言語ごとの差異
- ウィキペディア側の方針
 - ✓調べ物の出発点としての「百科事典」
 - ✓独自研究の禁止
 - ✓検証可能性

19

ウィキペディア記事の質評価

- 秀逸な記事 (73記事)
 - ✓ <https://ja.wikipedia.org/wiki/WP:FA>
- 良質な記事 (1033記事)
 - ✓ <https://ja.wikipedia.org/wiki/WP:GA>

20

その他のウィキサイトの例 (saveMLAK)

- <http://savemlak.jp>
- 文化・社会教育のサービス主体
 - ✓博物館 M (Museum)
 - ✓図書館 L (Library)
 - ✓文書館 A (Archives)
 - ✓公民館 K (Kominkan)
- 東日本大震災にかかわる情報まとめサイト(Wiki)、中間支援の活動
- 参加者
 - ✓施設関係者を中心にボランティアに集った有志
 - ✓例会参加者: 20~30名(東京、横浜、大阪、福岡)
 - ✓ウィキ編集者: 最大300名前後

21

クライシスレスポンスのためのツール

- Google Person Finder
- sinsai.info



saveMLAKサイトとその内容

- Semantic MediaWiki
- 1施設 = 1ページの構成
 - ✓複数キャンパス等、所在地が異なる施設ごとにページ作成
 - ✓複合施設は、各運営主体ごとに複数作成される
- 2種類のテンプレートから成る施設ページ
 - ✓定型の基本情報: 名称など
 - ✓自由記入情報: 被害情報など
- カテゴリ(複数付与)
 - ✓施設種別
 - ✓所在都道府県

25

saveMLAK施設テンプレート

- 名称
- よみ
- 所在地
- 緯度経度
- 電話番号
- FAX
- メールアドレス
- ウェブサイトURL
- ISIL(図書館ID)
- 備考

東松島市図書館	
よみ	ひがしまつしましとしょかん
所在地	〒981-0503 宮城県東松島市矢本字大溜1-1
緯度経度	38.4278035 北, 141.212419 東
電話番号	0225-82-1120
FAX	0225-82-1121
メールアドレス	tosyokan(at)city.higashimatsushima.miyagi.jp
ウェブサイトURL	http://library.city.higashimatsushima.miyagi.jp/docshp/
ISIL	JP-1000286
備考	

26

施設種別ごとの登録数

施設種別	施設数	(%)
博物館(M)	5,540	21.9%
図書館(L)	13,385	52.9%
文書館(A)	168	0.7%
公民館(K)	6,281	24.8%
その他類縁施設	113	0.4%

- 図書館施設の登録が最多
- 公民館、博物館が続く

27

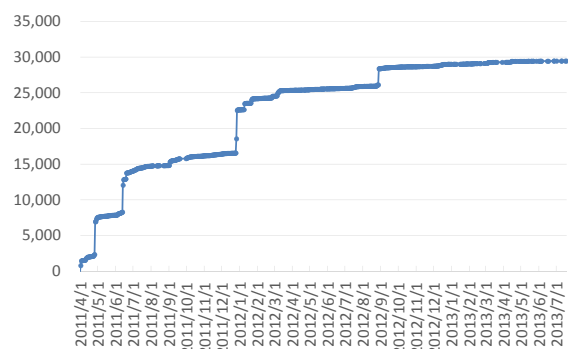
施設種別ごとの登録数(内訳)

施設種別	施設数	(%)
博物館(M)	5,540	21.9%
図書館(L)	13,385	52.9%
文書館(A)	168	0.7%
公民館(K)	6,281	24.8%
その他類縁施設	113	0.4%

館種	施設数	(%)
公共図書館	3,194	24.4%
公民館図書室	71	0.5%
大学図書館	323	2.5%
学校図書館	9,310	71.2%
専門図書館	172	1.3%

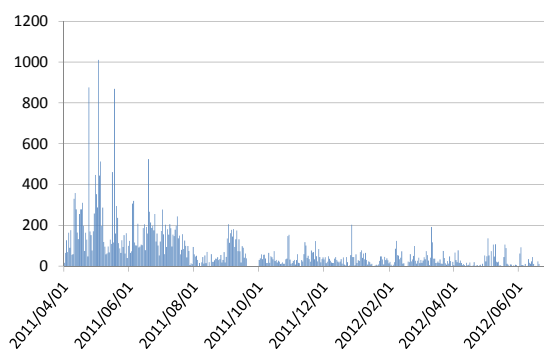
公民館、博物館が続く

saveMLAKウィキにおけるページ数の推移



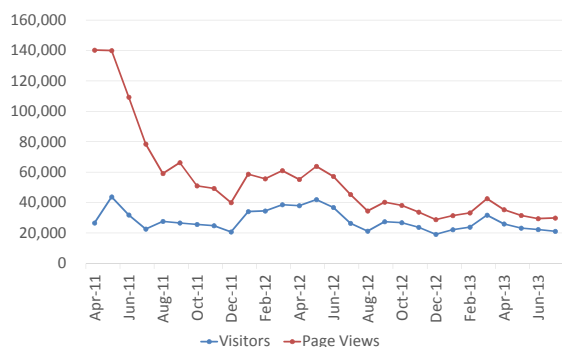
29

saveMLAKウィキ上の編集回数



30

saveMLAKウィキへのアクセス数



31

saveMLAKウィキのオープンデータ化

- saveMLAKウィキの活用
 - ✓被災情報、救援情報の集約と発信
- データセット
 1. XMLによる全データの提供
 2. 施設リストデータ(TSV)
- コンテンツライセンス
 - ✓ CC-BY-SA
 - ✓パブリックドメイン

<http://savemlak.jp/wiki/saveMLAK:データセット>

32

saveMLAK: これまでの活動

- プロボノ、協働体制
 - ✓複数拠点間での月例会議(MeetUp)
 - 2015年5月に第50回目
 - ✓システム、プロジェクト管理、会計、広報、etc.
- 各種団体との連携
 - ✓宮城県図書館, 名取市立図書館, 南三陸町図書館, 日本図書館協会, 東北大学附属図書館, ハーバード大学ライシャワー日本研究所, 日本フィランソロピー協会, iSP, インターネットミュージアム, 全国公民館連合会, etc.
- 活動の評価
 - ✓LODチャレンジ2011 データセット部門 最優秀賞
 - ✓Library of the Year 2012 優秀賞
 - ✓情報科学技術協会 優秀機関賞 (2012)

33

saveMLAKによる成果

- コンテンツ = まとめサイト(Wiki)
 - ✓震災情報まとめ
 - 震災に備えるための情報まとめ
 - ✓MLAK関連施設情報のまとめ
 - 施設情報(2万5千件超)のオープンデータ化
- コミュニティ
 - ✓MLAK連携が具現化した(稀有な)一例
- 中間支援
 - ✓コーディネート, 調整する外部組織として

34

本日のまとめ

- 多人数参加・情報共有
- ウィキの事例
 - ✓ WikiWikiWeb
 - ✓ Wikipedia
 - ✓ saveMLAK
- ウィキ: Web上での情報共有・情報協同編集のための古典的なツール
 - ✓ワークフロー(承認、決済、役割の明示)が無い場合、(暗黙の)ルールが必要
 - ✓編集のための指針/ルール
 - ✓コミュニティベースのコミュニケーションの枠組み

35

第4回レポート課題

- ウィキペディアにおける記事をひとつ選び、以下の要領で、その記事の改善を提案すること
 - ✓検証可能性を満たさない例を見つけ指摘すること
 - ✓上記に対する検証可能な文献を探し、適切に参照する
 - ✓そのほか、観点を明示すること

※改善案に関しては、直接ウィキペディア上での編集を行い、編集履歴として示してもよい
- なお、レポート内では、記事および参考文献をSIST02形式で示すこと

36

第4回レポート課題 (2)

- A4用紙1枚にまとめること(書式自由)
 - ✓ 2ページにわたる場合は裏面に記載のこと。
- 科目名、課題番号(第4回レポート課題)、提出年月日、学籍番号、所属、氏名を提出用紙の一番上に必ず記入する
- 提出〆切: 2015年6月30日(火)12:00
 - ✓ 春日エリア学群学務前のレポート提出BOXへ

37

授業全体のまとめ (1)

- デジタルドキュメントとは?
 - ✓ 定義と用例、種別
- 学術分野におけるデジタルドキュメント
 - ✓ 学術情報の要素、利用と提供の形態
 - ✓ 論文、オンラインジャーナル、プラットフォーム、DOI
 - ✓ 学術文献の種類
- 電子書籍
 - ✓ 歴史と最近の動向
 - ✓ 閲覧機器(ハードウェア)、ビューア(ソフトウェア)、コンテンツ
 - ✓ 電子辞書, Kindle, kobo, 青空文庫, NDL近代デジタルライブラリ
 - ✓ 紙の本と電子書籍の違い

38

授業全体のまとめ (2)

- Web
 - ✓ 歴史、ハイパーテキスト
 - ✓ HTML, URI, HTTP
 - ✓ XML: 整形形式と国際化
 - ✓ メタ言語とインスタンス言語
- セマンティックWebとメタデータ
 - ✓ LOD (Linked Open Data)、メタデータ、リッチなWebコンテンツ
- ドキュメントフォーマット
 - ✓ 文書構造、文書要素、書式・スタイル、フォーマットの識別
 - ✓ プレインテキスト、文字コード
 - ✓ LaTeX, PDF
 - ✓ オフィス文書、OOXMLとODF
- 多人数共有による文書作成とワークフロー
 - ✓ 文書管理、情報管理

39

授業は以上です

- 当初からの案内の通り、試験は行いません。
- 授業評価マークシートに記入、提出願います。
 - ✓ 自由記述文はTWINSにてログインの上、アンケート画面から記入してください。
- あわせて、出席票にも提出年月日、学籍番号、所属、氏名、感想コメント等(あれば)を記入のうえ、提出してください。
- ※未提出レポートがある受講生は必ず提出のこと

40